

# 事業評価表

(平成20年度実施事業)

事業CD. 0102106 - 17000

京 都 府 南 丹 市  
作成日: 平成21年05月08日

|      |   |          |  |                              |
|------|---|----------|--|------------------------------|
| 事業名  | 国民文化祭推進事業   | 事業運営方法   | <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等  | 所管部署名等                       |
| 細事業名 |   | 委託先      | <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 外郭団体 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 教育機関 <input type="checkbox"/> 自治会・地縁団体<br><input type="checkbox"/> その他 ( ) | 企画管理部<br>企画推進課<br>担当: 中島 しのぶ |
| 事業区分 | 事業分類: (B)ソフト事業                      政策体系CD: 135<br><input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 時限事業 (平成 年度迄) | 関連法令・条例等 |  |                              |

## 【事業の概要】

- ①施策で目指す目標との関連付け  
文化芸術の振興を図るための事業。国民文化祭の成功に向けた独自の取り組みを通じ本市の大きな特長である「ものづくり」の文化を内外に広めることをめざす。
- ②事業を実施する必要性  
平成23年度に京都府で開催される国民文化祭の周知は薄く、市域全体の気運の醸成が必要。
- ③未実施事項  
工芸文化祭の取り組みを中心に、NPOや大学との連携事業、工芸家の方々の交流事業などを組み込み、概ね予定通りの推進が図れた。
- ④他にも効果が見込める施策があるか  
第2章3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる  
⇒伝統工芸大学校や京都新光悦村の開村、そして市域で数多く活動を展開されている工芸家の方々がおられることなど、市の大きな特長であるものづくりの視点から、新たなブランド開発を推進する可能性を持つ。

## 【事業費の推移】

|                            | 単位       | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21予算 | 平22計画 |
|----------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額                  | 千円       |       | 324   | 476   | 631   | 2,076 |
| うち一般職、嘱託職、臨時職<br>給与および共済費等 | 千円       |       | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 財源内訳                       | 使用料・手数料等 | 千円    |       | 0     | 0     | 0     |
|                            | 国・府支出金   | 千円    |       | 0     | 0     | 0     |
|                            | 地方債      | 千円    |       | 0     | 0     | 0     |
|                            | 一般財源     | 千円    |       | 324   | 476   | 631   |
| 職員等従事人員                    | 人/年      | —     | —     | 0.40  |       |       |
| 人件費                        | 千円       | —     | —     | 2,644 |       |       |
| 事業費総額                      | 千円       | —     | —     | 3,120 |       |       |

## 【主な支出の内訳】

|                         |
|-------------------------|
| ・工芸文化祭実行委員会補助金 325,000円 |
|-------------------------|

## 【近隣市町村の取り組み状況】

|  |
|--|
|  |
|--|

## 【前年度の評価を受けて改善した点等】

|  |
|--|
|  |
|--|

## 【所属長総括評価】

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
国民文化祭の成功に向け、事前の独自事業の取り組み等について議論を重ねた。
- ②当該事業のアピール事項  
「ものづくり」という本市の特長を内外にPRする。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
国民文化祭の積極的な周知活動が必要である。

# 事業活動記録

平成20年度実施事業

|        |              |      |           |    |       |  |
|--------|--------------|------|-----------|----|-------|--|
| 政策体系CD | 135          | 事業名  | 国民文化祭推進事業 |    |       |  |
| 事業CD   | 102106-17000 | 細事業名 |           |    |       |  |
| 所管部局   | 企画管理部        | 所管課  | 企画推進課     | 担当 | 中島しのぶ |  |

102106-17000

| 区分        | 活動内容  | 活動日または時期                   | 活動結果  |
|-----------|---|----------------------------|---|
| 工芸文化祭開催事業 | <p>●工芸文化祭<br/>国民文化祭に向けた気運の醸成、市民の一体化、市域の一体化の醸成を目的として、市域で活躍される工芸家の紹介と作品展示、市文化協会連絡協議会の作品展示、各作業所、授産施設の作品発表等を開催した。<br/>京都府南丹広域振興局の実施する次世代へつなぐ南丹文化フォーラム並びに南丹教育局の実施する南丹工芸美術教育展とのジョイントによる開催とした。</p> <p>●南丹職人はっけんマップ作成<br/>工芸文化祭実行委員会として、京都匠塾、伝統工芸大学校学生サークル「こたくみ」の協力を得て、市内で活躍されている職人を紹介する小冊子を作成した。</p> | 1月31日～2月1日<br>※展示期間は2月8日まで | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会開催 2回</li> <li>・補助金交付 325,000円</li> <li>・期間中の参加者 3,000人</li> <li>・南丹職人はっけんマップ作成</li> </ul> |
| 視察研修      | <p>●伝統的工芸品月間岐阜開催視察<br/>国民文化祭イベントへの位置づけをもって平成21年度に京都で開催予定の「工芸品月間国民会議」について、先催県の岐阜県大会を視察研修した。</p>  | 11月12日～13日                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国大会式典、記念シンポジウム</li> <li>・関連催事(工芸品まつり・ぎふ)</li> <li>・全国伝統工芸士大会</li> </ul>                        |
| 南丹職人展開催事業 | <p>●京都伝統工芸職人展「用の美の空間」<br/>かやぶき美術館を会場に、NPO法人京都匠塾と市の共催による職人展を開催。<br/>開催案内チラシの作成を市で担当し、その他の費用は匠塾の負担による。<br/>展示とともに、若手職人による実演の企画を盛り込んだ。</p>   | 4月1日～27日                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間中の来場者 770人</li> <li>・チラシ作成 20,000部</li> </ul>   |